
インドネシアつなぐプロジェクト
コロナ禍だからこそ、生まれた文化でつなぐ4つのストーリー



上記の4者がインドネシアに忍者村をデザイン、建設し
ワールド忍者イベントをコロナ収束後開催します（2021年4月予定）
概要はつぎの通りです。

このストーリーには、4人の主人公がいます。

① deneb

広島県佐伯区を拠点に活動するバンド。広島県のローカルCMを多数手がけ、
インドネシアにて大手日本企業CMソングやドラマのオープニング曲&挿入歌などの
楽曲も手がけるアーティスト

→（コロナ後状況）曲提供を予定していたインドネシアドラマ収録延期
ライブハウス経営、ライブ活動も自粛状況

② Ghaida ガイダ

元JKT48第1期生総選挙最高順位2位 日本のTV番組でも現役時代は活躍
日本語も話す。卒業後はSyn Chordiaとして日本語で楽曲も発表。

→（コロナ後状況）日本でも活発に活動していたがライブ活動も自粛状況

③ Wati 氏

インドネシアで日本レストラン複数、スモールワールド（アミューズメントパーク）
経営により地域活性化に従事する実業家

2018年には忍者村をインドネシアに建設するため、インドネシア富裕層集団50
名と共に甲賀忍術村を視察。滋賀県知事、甲賀市長他多くの市長や大学を表敬訪問
（NHK、京都新聞、中日新聞等のメディア取材も受ける）

→（コロナ後状況）忍者村のデザイン、カラクリ屋敷の視察などのため訪日予定
も中止。

④ 辻敬太氏 with 辻敬太起業オンラインサロンメンバー

日本の起業家辻敬太氏とオンライン学びたいと集まった多くの若者中心のサロン。

→（コロナ後状況）オンラインサロンは日本第3位。多くのサロン生に対し、面談、
無料講演など行ってきた辻氏であったが、コロナ禍で自粛状況。

コロナ禍、①②のアーティストは互いに何か両国のためにできないかそれぞれ模索してい
ました。

①deneb はインドネシアのよさこいチームの為に楽曲制作費をクラウドファンディングするなど、思考を凝らし活動、模索していた。

②Ghaida はインスタライブで日本語講座、インドネシア語講座を両国のファンに向けてオンラインで無料開催など活動していた。

また、③④の実業家たちは自身の事業も打撃を受けつつも、

③ Wati 氏は自国のもっと多くの困窮した人々、地域に何ができるのかを模索。自社のレストランのテイクアウト弁当の提供などの活動を所属する奉仕団体（ライオンズクラブ）と共に支援活動をしなが、計画していた忍者村の建設で何かできないかを考えていた。

つなぐプロジェクト発足

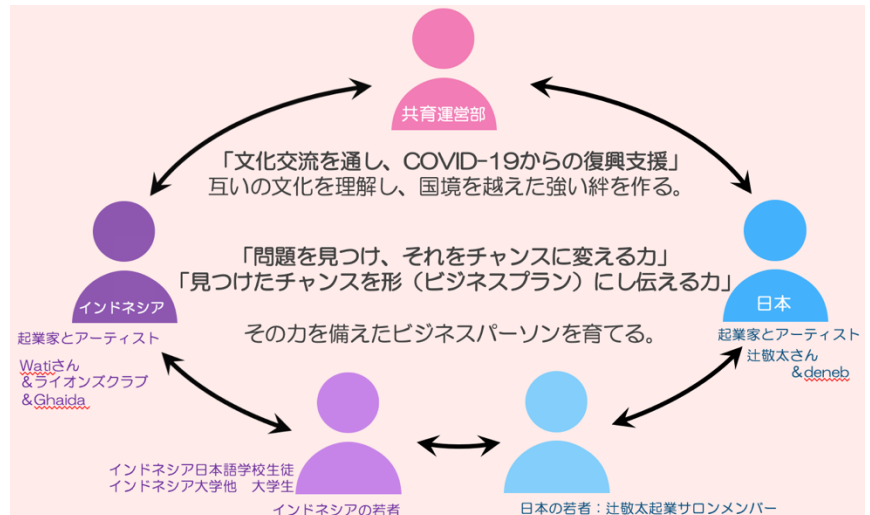
辻敬太サロンメンバーで①

②③と関わりのあるメンバーが3者の状況を辻氏に相談。

「このサロンメンバーで企画構築していくことでサロン生には学びに、また3者にも助けになるのではないかと」発案。

（現在メンバー約100名）サロン生の共に育つ教育（共育）プログラムとして活動としてメンバーに投げる。

これにより、4者が繋がり、この『つなぐプロジェクト』が動き出す。



活動

現在、忍者という日本コンテンツを両国の4者が共有し、忍者村の創設、継続可能な忍者イベントをデザインし、祭りツーリズムを仕掛ける。イベントは忍者アクション、ダンスで参加チームを募る仕掛け。全体で踊る総踊り楽曲を deneb が担当。インドネシア語に Ghaida が担当する。ドキュメンタリーとしてインドネシアメディア Japanese station が放映することが決まっている。

【お問い合わせ先】

▼denebに関してのお問い合わせ

広島県広島市佐伯区五日市4丁目18-18 清水プラザビル3F

MusicGuild MatchBox内

担当：deneb：橋新二 / deneb：bubbles(吉岡)

▼「つなぐプロジェクト」事業 運営 管理

滋賀県東近江市宮川町683-103

株式会社ワオナス ARK事業部

担当：坂口

090-7550-8575